

都道府県名：東京都 団体名：東京都立農業高等学校

地域

都立農業高等学校神代農場が広がる調布市の深大寺・佐須地域は、武蔵野台地の縁辺部に形成された国分寺崖線の周辺に位置し、崖線から湧き出る豊富な湧水と水路、そして田畑や雑木林が一体となって、現在でも武蔵野の里山風景を色濃く残している地域です。この地域の湧水は、国分寺崖線にしみ込んだ雨水が地中を流れ、崖線部から自然に湧き出したもので、古くから人々の暮らしや農業を支え、また多様な生き物が生息する貴重な水辺環境を形成しています。特に、都立農業高等学校神代農場には、湧水を利用した池や水路が点在するなど、水と緑に支えられた特徴的な景観が維持されてきました。

経緯

神代農場には国分寺崖線の豊かな緑や豊富な湧水が残されており、調布市内においても、武蔵野の原風景を今に伝える重要な場所でした。一方で、近隣では宅地化が進み、雨水浸透量が減少しており、いかにして湧水環境や農の景観を維持していくのかが、地域の課題として取り上げられていました。

こうした背景のもと、深大寺・佐須地域に残る湧水や崖線林、水路、農地などの貴重な自然環境を、市と学校が協力して守り、次世代へ継承していくべく、調布市は平成17年度(2005年度)から都立農業高等学校と協議を重ね、「教育、文化に関すること」「自然環境の保全、保護に関すること」「環境に対する市民及び都民の啓発活動に関すること」などの事項について連携して事業を行うとの基本合意に達し、平成20年(2008年)8月25日に、相互連携基本協定の調印が行われました。

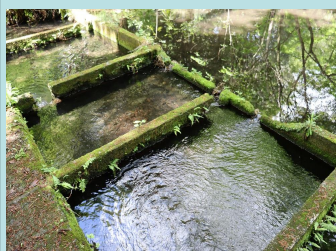
功績内容

○ 市民への環境学習・普及啓発への貢献

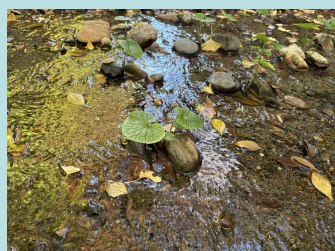
神代農場は、農業教育施設としてだけでなく、市民が湧水や自然環境について学ぶ場としても活用されてきました。調布市との連携協定以降は、自然観察会や公開講座、調布市環境フェアへの出展にご協力いただき、市民が都市の中の湧水環境を学ぶ機会を提供しています。こうした活動は、深大寺・佐須地域の自然環境保全に対する地域の理解を広げることにもつながっています。

○ 湧水を活かした農地・水路環境の維持

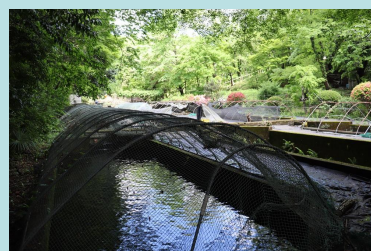
神代農場では、湧水を活用した圃場管理や植栽管理が長年継続されており、その結果、周辺の水辺には水生植物や昆虫、野鳥など、多様な生態系が維持されてきました。都市近郊では、農地利用の消失とともに湧水が暗渠化・消滅する例も多い中で、里山を形成する自然環境資源を使いながら守るという形で水環境の維持に取り組んでいます。



豊かな湧水



湧水を利用したワサビの栽培



湧水を利用したヤマメ、ニジマスの養殖



湧水を利用した稲の栽培



調布市民を対象とした農場内観察会

調布市環境フェアへの出展